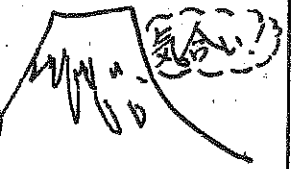


2学年通信 信頼され尊敬される先輩をめぐして

2020.5.1.

No. 4

立志大成



読書のススメ

“目に青葉 山ほととぎす 初鰹(かつお)”～山口素堂～

4月も終わり、いよいよ新緑がまぶしい季節となりました。私事ですが、この時季は“花粉症”も治まり、陽射しもまぶしく気温も上昇し、何かソワソワ、ツクツクします。今年は、コロナ禍の影響で外出もできず、人とも会えず悶々としています。でも、それでも山々は緑に包まれ、花は色鮮やかに咲き誇り、動物たちは元気に走り回り、鳥たちは美しい声でうたっています。例年なら、学校生活や部活動の各種大会で忙しいときですが、今年は余裕があるので、豊かな自然の動きを感じながら、“自分”という存在をもう一度見つめ直してみることも大切なのでしょう。

“自分を見つめる”ということにおいてこの年生の皆さんに薦めたいことの1つに“読書”があります。読書は心を豊かにします。様々なことを疑似体験することもできます。知識や想像力が広がり、そこから“創造する力”も生まれてきます。心も自然と落ち着き、自分を振り返ることもできます。また、作品中の登場人物や筆者の言葉から“生きる勇気”をもらうこともあります。読書とは、そんなとても価値のある有意義なものなのです。ご家庭でも話題にされ、“家族で読書”という時間がつくれれば、本当にすばらしいと思います。

～今“ある”もの…～

新型コロナウイルスの感染拡大で数多くのイベントが中止されてしまいました。いろいろなものがなくなってしまう今でも“ある”もの…それは、“自分の時間”です。自分のために自分で使える時間は確実に“あります！”この万人に平等に与えられて“1日24時間”をどう使うか。それを自分で決めて、実行することができるのが“今”なのです。文学・地理・歴史・自然・科学・芸術・運動 etc…。何か興味をもったものを見つけ、それに没頭してみてください。くれぐれもゲームに没頭することのないように(笑)。